

文部科学大臣杯 第21回日本車椅子ハンドボール競技大会 試合結果

日時:2023年11月4日(土)~5日(日)

天候:両日ともに快晴

場所:大阪府堺市 大浜だいしんアリーナ

チーム役員・選手数:174名 役員:30名 ボランティアスタッフ:42名

本大会はくじ助成を受けて開催されました。



11月4日(土)

競技組合せ

競技の部 I										
A ブロック										
№	チーム	大阪体育大学APES-A(大阪府)	Knockout S C G	O A T	勝・分・敗	得点	失点	得失差	勝点	順位
A1	大阪体育大学APES-A(大阪府)	13	16	17	11	1勝0分1敗	30	27	3	2
A2	Knockout S C G(京都市)	18	13	21	13	2勝0分0敗	37	26	11	4
A3	G O A T(大阪府)	11	17	13	21	0勝0分2敗	24	38	-14	3
B ブロック										
№	チーム	すわろ～ず	ドリーマーズ	V・i・n・a	勝・分・敗	得点	失点	得失差	勝点	順位
B1	すわろ～ず(大阪府)	16	11	21	19	2勝0分0敗	37	30	7	4
B2	ドリーマーズ(京都市)	11	16	15	25	0勝0分2敗	26	41	-15	3
B3	V・i・n・a(大阪府)	19	21	25	15	1勝0分1敗	44	36	8	2
C ブロック										
№	チーム	東神子スポーツチームAero	大阪体育大学APES-P	京都伏見スパローズ	勝・分・敗	得点	失点	得失差	勝点	順位
C1	東神子スポーツチームAero(京都市)	17	27	26	8	1勝0分1敗	43	33	10	2
C2	大阪体育大学APES-P(大阪府)	27	17	31	5	2勝0分0敗	58	22	36	4
C3	京都伏見スパローズ(京都市)	6	26	5	31	0勝0分2敗	11	57	-46	3
D ブロック										
№	チーム	大阪 N R F	大阪体育大学APES-E	B-Loup(びわりハ)	勝・敗・分	得点	失点	得失差	勝点	順位
D1	大阪 N R F(大阪府)	15	19	13	15	0勝0分2敗	28	34	-6	3
D2	大阪体育大学APES-E(大阪府)	19	15	20	10	2勝0分0敗	39	25	14	4
D3	B-Loup(びわりハ)(京都市)	15	13	10	20	1勝0分1敗	25	33	-8	2

競技の部 II										
№	チーム	Knockout S C G	ドリーマーズ	L B H	勝・分・敗	得点	失点	得失差	勝点	順位
E1	Knockout S C G(京都市)	2	0	2	0	2勝0分0敗	4	0	4	4
E2	ドリーマーズ(京都市)	0	2	2	0	0勝0分2敗	0	4	-4	3
E3	L B H(京都市)	0	2	2	0	1勝0分1敗	2	2	0	2

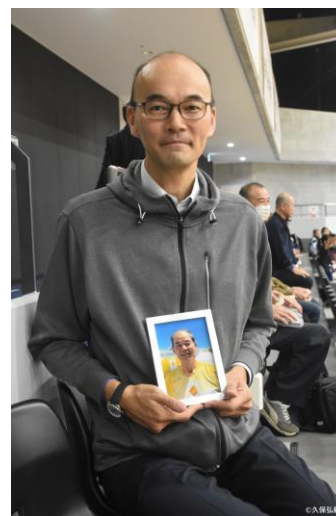
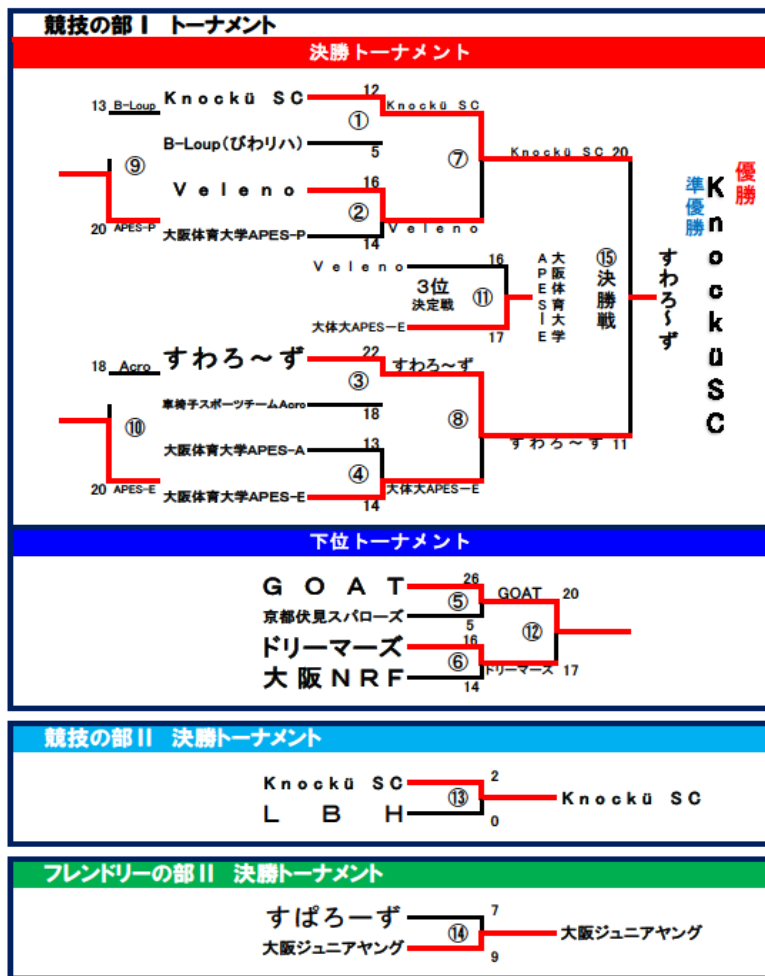
フレンドリーの部 II										
№	チーム	すばろ～ず	大阪ジュニアシニア	大阪ジュニアヤング	勝・分・敗	得点	失点	得失差	勝点	順位
F1	すばろ～ず(大阪府)	10	4	15	12	2勝0分0敗	25	16	9	4
F2	大阪ジュニアシニア(大阪府)	4	10	6	6	0勝1分1敗	10	16	-6	1
F3	大阪ジュニアヤング(大阪府)	12	15	6	6	0勝1分1敗	18	21	-3	1

日程表

11月4日(土) 競技の部 I (予選リーグ)・競技の部 II・フレンドリーの部 II										
№	時間	Aコート	Bコート							
1	11:00～	D1-D3 大阪 N R F - B-Loup(びわりハ) 13 (6-8) 15 (7-7)	A2-A3 Knockout S C G - O A T 21 (11-8) 13 (10-5)							
2	11:45～	C1-C3 東神子スポーツチームAero - 京都伏見スパローズ 25 (13-2) 6 (12-4)	B2-B3 ドリーマーズ - V・i・n・a 15 (8-14) 25 (7-11)							
3	12:30～	A1-A2 大阪体育大学APES-A - Knockout S C G 13 (5-8) 16 (8-8)	D2-D3 大阪体育大学APES-E - B-Loup(びわりハ) 20 (11-5) 10 (9-5)							
4	13:15～	B1-B2 すわろ～ず - ドリーマーズ 22 (11-9) 16 (11-7)	F2-F3 大阪ジュニアシニア - 大阪ジュニアヤング 6 (1-3) 6 (5-3)							
5	14:00～	E1-E3 Knockout S C G - L B H 2 (7-4) 3 (7-3)	C2-C3 大阪体育大学APES-P - 京都伏見スパローズ 31 (16-2) 5 (15-3)							
6	14:45～	A1-A3 大阪体育大学APES-A - G O A T 17 (7-7) 11 (10-4)	B1-B3 すわろ～ず - V・i・n・a 21 (12-10) 19 (9-9)							
7	15:30～	E1-E2 Knockout S C G - ドリーマーズ 2 (9-3) 0 (8-2)	F1-F3 すばろ～ず - 大阪ジュニアヤング 15 (7-7) 12 (8-5)							
8	16:15～	D1-D2 大阪 N R F - 大阪体育大学APES-E 15 (8-10) 19 (7-9)	C1-C2 東神子スポーツチームAero - 大阪体育大学APES-P 17 (10-11) 27 (7-16)							
9	17:00～	E2-E3 ドリーマーズ - L B H 0 (0-4) 2 (2-3)	F1-F2 すばろ～ず - 大阪ジュニアシニア 10 (4-3) 4 (6-1)							
11月5日(日) 決勝・下位トーナメント										
№	時間	Aコート	Bコート							
1	8:45～	① Knockout S C G - B-Loup(びわりハ) 12 (5-1) 5 (7-4)	② V・i・n・a - 大阪体育大学APES-P 16 (10-8) 14 (6-6)							
2	9:30～	③ すわろ～ず - 東神子スポーツチームAero 22 (11-9) 18 (11-9)	④ 大阪体育大学APES-A - 大阪体育大学APES-E 13 (8-6) 14 (5-8)							
3	10:15～	⑤ G O A T - 京都伏見スパローズ 26 (15-4) 5 (11-1)	⑥ ドリーマーズ - 大阪 N R F 16 (10-8) 14 (6-6)							
4	11:00～	⑦ Knockout S C G - V・i・n・a 16 (6-9) 15 (10-6)	⑧ すわろ～ず - 大阪体育大学APES-E 15 (12-8) 14 (3-6)							
5	11:45～	⑨ B-Loup(びわりハ) - 大阪体育大学APES-P 13 (5-12) 20 (8-8)	⑩ 東神子スポーツチームAero - 大阪体育大学APES-A 18 (8-9) 22 (10-13)							
5	12:30～	競技の部 I 3位決定戦 ⑪ V・i・n・a - 大阪体育大学APES-E 16 (8-8) 17 (8-9)	⑫ G O A T - ドリーマーズ 20 (10-8) 17 (10-9)							
6	13:15～	競技の部 II 決勝戦 ⑬ Knockout S C G - L B H 2 (5-1) 0 (6-5)	⑭ すばろ～ず - 大阪ジュニアヤング 7 (4-6) 9 (3-3)							
7	14:00～	競技の部 II 決勝戦 ⑮ Knockout S C G - すわろ～ず 20 (9-16) 11 (11-5)								

<申し合わせ事項>
 1 競技時間は、競技の部 I とフレンドリーの部は前後半各15分間・休憩5分、競技の部 II は前後半各10分間・休憩5分とする。
 2 各部門とも、リーグ戦は、勝敗点、引き分け1、負け0とする。
 3 リーグ戦の順位決定は、勝敗点がある場合は ①得失点差 ②総得点 ③抽選とする。
 4 競技の部 I の各ブロック順位により、上記のとおり上位・下位トーナメントを行う。競技の部 II 及びフレンドリーの部 II は、リーグ戦上位2チームで決勝戦を行う。
 5 2日目の決勝以外の試合は、両点の場合、3名ずつによる7mX3コートとし、再度両点の場合は、サドンデスとする。
 6 決勝戦のみ両点の場合、5分の休憩後に前半5分・休憩5分・後半5分の延長戦を行う(タイムアウトはなし)。延長戦でもなお両点の場合は、3名ずつによる7mX3コートとし、再度両点の場合は、サドンデスとする。

11月5日(日) 決勝・下位トーナメント



開会式では、2016年から当連盟の会長に就任し、最期まで車椅子ハンドボールにご尽力頂いた故木野実氏へ、ご遺族の方と共に大会参加者一同黙禱を捧げました。

【 大会 1 日目 】

第 1 試合 11:00～ 競技の部 I

Aコート 大阪 NRF【13】 — B-Loup(びわりハ)【15】

Bコート Knocku SC【21】 — GOAT【13】

第2試合 11:45～ 競技の部 I

Aコート 車椅子スポーツチーム Acro【25】 — 京都伏見スパローズ【6】

Bコート ドリーマーズ【15】 — Veleno【25】

第3試合 12:30～ 競技の部 I

Aコート 大阪体育 APES-A【13】 — Knocku SC【16】

Bコート 大阪体育 APES-E【20】 — B-Loup(びわりハ)【10】

第 4 試合 13:15～ (A)競技の部 I (B)フレンドリーの部

Aコート すわろ～ず【22】 — ドリーマーズ【16】

Bコート 大阪ジュニア【6】 — 大阪ジュニアヤング【6】

第5試合 14:00～ (A)競技の部II (B)競技の部I

Aコート Knocku SC【2】 — LBH【0】(7-4/7-3)

【戦評】 LBHからのスローオフで開始。LBH83番安田の3連続得点で3-0でリードする。Knocku SCも2番森谷の連続得点と10番諸岡の得点により、開始4分で3-3の同点に。その後は、勢いに乗ったKnocku SCがLBHよりも多く得点を決めたことで、前半は7-4でKnocku SCが取った。

後半はKnocku SCからスローオフで開始。前半の差最後でLBH00番東が退場し、後半に持ち越された。1人欠けている状態で力強く守るLBHであるが、Knocku SC1番阿部が先取。しかし、LBH83番安田と退場から戻ってきた00番東の得点と、GK20番木村の好セーブにより、開始3分で2-2の同点に。その後は、お互い激しい攻防を繰り広げるが、Knocku SCに軍配が上がり、後半も7-3で勝利した。(戦評担当者:多田晨之助)

Bコート 大阪体育大学 APES-P【31】 — 京都伏見スパローズ【5】

第6試合 15:10～ 競技の部I

Aコート 大阪体育大学 APES-A【17】 — GOAT【11】

Bコート すわろ～ず【21】 — Veleno【19】

第7試合 16:00～ (A)競技の部II (B)フレンドリーの部

Aコート Knocku SC【2】 — ドリーマーズ【0】(9-3/8-2)

【戦評】 ドリーマーズのスローオフで試合開始。序盤から激しい攻防が続いた。Knocku SC10番諸岡の2連続とくや2番森谷の得点などで4-0とリードを広げる。ドリーマーズは、パスミスなどがあり、得点に繋がらない、Knocku SCの10番、諸岡がターンシュートを決めて、2得点を獲得した。しかし、すぐさまドリーマーズの4番真下もターンシュートをして、2得点を決めた。終始、Knocku SCが主導権を握り、9-3で勝利した。

Knocku SCのスローオフで試合開始。開始早々、巧みなパスワークからKnocku SC10番諸岡が得点を決め、その後も2番森谷がターンシュート

を決め、3-0 とリードを広げる、ドリーマーズもゴールを試みるが、Knocku SC の 2 番森谷に阻まれる。Knocku SC は、スピード感のあるチェアワーク、巧みなパスワークで、得点をお重ねる。今回も終始 Knocku SC が主導権を握り、8-2 で勝利した。(戦評担当者:内田峻介)

Bコート すぱろーず【15】 — 大阪ジュニアヤング【12】

第 8 試合 16:50～ 競技の部 I

Aコート 大阪 NRF【15】 — 大阪体育大学 APES-E【19】

Bコート 車椅子スポーツチーム Acrr【17】 — 大阪体育大学 APES-P【27】

第 9 試合 17:30～ (A)競技の部 II (B)フレンドリーの部

Aコート ドリーマーズ【0】 — LBH【2】 (0-4/2-3)

[戦評] LBH のスローオフで試合開始。先制点を奪ったのは LBH。83 番安田のパスカットからミドルシュートで先制。続いてドリーマーズ 4 番真下が相手の隙をついたパスカットからの 9 番中田にパスをするが惜しくもゴールに届かず。その後、LBH は左右に振る巧みなパス回しから得点を重ねる。ドリーマーズもチャンスは作るが LBH20 番 GK 木村の好セーブにより惜しくも得点には至らず前半 0-4 で LBH がセットを制す。後半開始直後は LBH の堅いディフェンスがドリーマーズを苦しめる。LBH は 83 番安田の連続得点で 0-3 と点差を広げる。このまま試合が終わるのかと思いきや、ドリーマーズ 5 番 GK 山本(新)の隙を突いたパスで 2 番山本(英)がシュートを決め、流れが変わる。この流れを変えるため LBH20 番木村が回転シュートを試みるがディフェンスに阻まれる。勢いに乗ったドリーマーズの 5 番 GK 山本(新)からの高速パスで 4 番真下が得点を決める。その後は一進一退の攻防が続くが両チーム得点には至らず 2-3 で LBH がセットを制し、0-2 で勝利した。

Bコート すぱろーず【10】 — 大阪ジュニアシニア【4】

【大会 2 日目】

第 1 試合 8:45～ 競技の部 I

Aコート Knocku SC[12]ー B-Loup(びわりハ)[5]

【戦評】 前半、Knocku SC のスローオフで試合スタート。お互いに激しい攻防が続くが、得点に繋がられない。試合が動いたのは、開始から 2 分、Knocku SC の 10 番諸岡がサイドからのシュートで先制点を決める。B-Loup もその直後、シュートを放つが、ゴールならず。Knocku SC の 10 番諸岡の 2 連続得点や 11 番吾妻の得点でリードを広げる。B-Loup の 5 番田中が 14 分にチーム初得点を決める。後半、B-Loup のスローオフで始まった。後半も Knocku SC の勢いはとまらない。10 番諸岡の 3 連続得点や 2 番森谷の得点で、大きくリードを広げる。B-Loup の 5 番田中が得点を決めるが、Knocku SC が終始、主導権を握り、12-5 で勝利した。(選評担当者:内田峻介)

Bコート Veleno[16]ー 大阪体育大学 APES-P[14]

【戦評】 Veleno のスローオフで試合開始。Veleno4 番児玉選手のシュートで先制する。APES-P のファーストシュートは 1 番横井選手。ゴールキーパーの 11 番大原選手も積極的にオフェンスに参加し、36 番青木選手、25 番高野選手らとともにシュートチャンスを作り出していた。対する Veleno も 8 番目浦選手、1 番吉岡選手らを筆頭に得点をあげる。前半 12 分、8-8 の同点のときに Veleno がタイムアウトを申請。その後 2 点獲得し、10-8 で前半終了。後半はベンチ陣の積極的な応援もあり、Veleno が常にリードをする。対する APES-P は 11 番大原選手が好セーブを連発しチームを盛り上げていた。Veleno は、5 番北川選手、2 番関原選手の巧みなパス回しからシュートチャンスを多く作り出していた。16-14 で試合終了。Veleno の勝利。(選評担当者:古川雄大)

第 2 試合 9:30～ 競技の部 I

Aコート すわろ～ず[22]ー 車椅子スポーツチーム Acro[18]

【戦評】 すわろ～ずのスローオフでスタート。Acro のディフェンスに阻まれつつもパス回しで空いた隙を狙い、52 秒で 1 点目。Acro は、すわろ～ず

の GK 山本がオフェンスに入っている間にロングシュートを決める。その後もすわろ～ずは 1 番大久保、2 番刈谷、14 番坂東の巧みなパスワークで Acro のディフェンスの隙を作り、シュートを決めていく。Acro は、すわろ～ずのディフェンスの間をつき、1 番歴舎(望)から 14 番大濱へのパスで得点を重ね、7 分経過で同点。その後もシーソーゲームが続き、Acro 9-11 すわろ～ずで折り返す。

後半、Acro のスローオフでスタート。直後より、GK 歴舎(敦)がオフェンスに加わる。すわろ～ずのディフェンスが固く、なかなか得点に繋がらない。一方、すわろ～ずは、1 番大久保、2 番刈谷、4 番坂東の巧みなパスワークで Acro の隙をつくり得点を重ねていく。開始すぐに 2 番刈谷の先制シュート、立て続けに 2 本シュート。4:17 に Acro タイムアウト後、3 番松本が 5:50 でやっと 1 点目。その後、GK 歴舎(敦)が 2 本入れる。その後も歴舎自身のフェイントで得点を重ねた。すわろ～ずは、2 番刈谷からのパスで 11 番堤のシュートが決まる。すわろ～ずの左右に振るパスワークから Acro のディフェンスが崩れ、シュートタイミングが生まれていた試合であった。(選評担当者:小仲)

Bコート 大阪体育大学 APES-A[13]ー 大阪体育大学 APES-E[14]

[戦評] 前半 APEA-A からのスローオフで開始。APES-E9 番池尻が決めて先制。しかし、APSE-A も負けてはおらず、10 番中屋がすぐさま同点にすると、14 番豊田のシュートでリードする。両チーム共に、パスワークからのポストへのボール回しで得点を重ねようとするが、APES-A8 番河田と APES-E39 番吉本の好セーブが続いた。しかし、開始 13 分、APES-A12 番池田の得点からチームに勢いがつき、26 番金丸がポストシュートを決めて 8-6 と 2 点差に突き放した。

後半、APES-E のスローオフから開始すると、39 番吉本が得点し、すぐさま 1 点差にする。APES-E19 番佐藤のシュートが APES-A8 河田によって 3 連続シャットアウトされるが、開始 8 分、APES-E27 番石川のシュートで APES-E が遂に逆転する。その後は、お互いに激しい点数の取り合いが続くが、APES-E がリードした 1 点を最後まで守り抜き、14-13 で勝利した。(選評担当者:多田晨之助)

第 3 試合 10:15～ 競技の部 I

Aコート GOAT[26]ー 京都伏見スパローズ[5]

[戦評] GOAT のスローオフ。26 番宮原選手の選手点で試合が始まる。ディフェンスでは、ゴールキーパー45 番の上村選手の攻守と、11 番新木選手のシュートブロックで京都伏見スパローズの得点を阻止していた。オフェンスでは 26 番宮原選手の力強いシュートが目立っていた。対する京都伏見スパローズは、3 万辻井選手、10 番大西選手、14 番岩田選手が果敢にシュートするも思うように得点をとれず、15-4 で前半終了。

後半立ち上がりでは、京都伏見スパローズの1番堀選手が攻守を連発。それに対し、GOATはゴールキーパーからの鋭いロングパスでの速攻形式に切り替え、27番川嶋選手、35番青野選手の連携プレーで得点を量産していた。26-5で試合終了。GOATの勝利。

Bコート ドリーマーズ[16]— 大阪 NRF[14]

[戦評] ドリーマーズのスローオフで開始。ドリーマーズ5万山本、4番真下が短時間で得点し、ペースを掴む。対する大阪 NRFは、6人攻撃でオフENSEを組み立て得点していく。前半(5:39)ドリーマーズがタイムアウトを要求。大阪 NRFに傾きかけていた流れを6人攻撃で対応する。しかし、大阪 NRFの堅守からマイボールにし、8番馬場を中心にオフENSEを組み立て得点。ドリーマーズは、5番山本(GK)のナイスキーピングで、大阪 NRFの流れを断ち切り、前半を10-8ドリーマーズのリードで折り返す。

後半は、大阪 NRF 8番馬場の得点から始まる。また、9番佐藤がノーマークシュートをキャッチし、速攻に繋げ、後半1:30で同点にする。大阪 NRFの流れになったが、ドリーマーズがエンブティゴールに、ゴールを決め、一進一退の攻防となる。しかし、6:54頃、大阪 NRF11番橋口が不正入場により、2分間退場となり、ドリーマーズが再び流れを戻す。大阪 NRFは、エンブティにして、5人でオフENSEを組み立てるが、ドリーマーズの速いリスタートでゴールを決められ、流れを掴めない。落ち着いたドリーマーズは、終盤慌てず攻撃を組み立て、16-14でドリーマーズが勝利を収めた。(選評担当者:川崎始)

第4試合 11:00～ 競技の部 I

Aコート Knocku SC[16] — Veleno[15]

[戦評] 前半 Knocku SCのスローオフでスタート。終始マンツーマンディフェンスのSCはVelenoの攻めを抑えるが、2:007番若杉が隙をついてシュート、Knocku SCは、5番森谷、1番阿部のツーマンで2点目、VelenoはGK児玉も加わり、Knocku SC5人Veleno6人で必ず1人空くところをうまく狙って、パスからの7番若杉のシュート、お互いにミスがあり、5:30まで4対4。Veleno2番関原がKnocku SCの厳しいディフェンスをくぐりセンターからシュート、ゲームが動き出した。GK児玉のシュート攻防もあり、Knocku SCは得点が止まった。Veleno GKがオフENSEに加わっているため、ゴールが開く、そこを狙って10番諸岡がシュートで前半終了。

後半、Velenoのスローオフでスタート。Velenoは6人攻めで、ディフェンスが空いた所を上手くパスワークをし、得点を重ねていく。Knocku SCも11番吾妻、10番諸岡と力強いシュートを決めていく。じりじりとKnocku SCが得点を詰めていき、9:25、Veleno TimeOut後、更にディフェンスが

厳しくなり、Veleno はシュートが出来ない。11:55 に一度同点にした Knocku SC は勢いがあり、13-16 に逆転。14:33、2 番関野がやっと 15 点目を入れたが、14:58、遂に Knocku SC 10 番諸岡のシュートで逆転し勝利した。Veleno ベンチの選手に対しての声掛けはチームを盛り上げていた。(選評担当者:小仲)

Bコート すわろ〜ず【15】 — 大阪体育大学 APES-E【14】

[戦評] 前半、すわろ〜ずのスローオフで試合開始。APES-E の 39 番吉本が先制点を挙げたが、すぐさますわろ〜ずの 1 番大久保が同点を決め、その後も 2 連続で得点し、3-1 とリードを広げる。APES-E の 9 番池尻などでシュートを決めるが、パスのミスやシュートのミスが目立ち、ゴールに繋がられない場面が多かった。すわろ〜ずは、APES-E のミスにつけ込み、着実に得点を決め、点差を広げ、12-8 で前半終了。後半は、APES-E のスローオフでフォーストオフenseで 9 番池尻が得点を決める。それからは APES-E の 31 番吉岡の好セーブや 19 番斎藤の得点により、1 点差まで追い詰める。その後は、すわろ〜ず 1 番大久保の得点などでお互いに得点を決め合い、激しい攻防戦が繰り広げられる。最後は、すわろ〜ずが 1 点差を守り抜き、15-14 で勝利した。(選評担当者:内田峻介)

第 5 試合 11:45〜 競技の部 I

Aコート B-Loup(びわりハ)【13】 — 大阪体育大学 APES-P【20】

[戦評] B-Loup のスローオフで開始。APES-P 1 番横井が先制点を決めて、ゲームが動き出す。APES-P は、巧みにボールをまわし、13 番米田を起点として、得点を重ねていく。また、GK 大原もオフenseに入り、数的有利を活かしたゲームを展開していく。対する B-Loup は、95 番田中を中心に組み立てるが、シュートがなかなか決めることができない。しかし、APES-P の堅守と速攻で取り返され前半 12-5 APES-P のリードで折り返す。後半は、APES-P の堅守と速攻で取り返され、前半 12-5 APES-P の 6 人攻撃からスタート。お互いに徹底した DF を展開し、得点が決まらず、その中 B-Loup 95 番田中のロングシュートが決まってから、お互いに得点が決まり出す。後半、ペースをつかめない APES-P は、後半中盤でタイムアウトを要求する。それから、13 番米田が得点を決め出し、流れが変わる。最後は、20-13 で APES-P が逃げ切り、勝利を収める。(選評担当者:川崎始)

コート 車椅子スポーツチーム Acro【18】 — 大阪体育大学 APES-A【22】

戦評 前半、Acro のスローオフで開始。Acro14 番大濱が先制点を取ると、Acro3 番松本や 9 番高山も続いて得点を決める。Acro30 番歴舎の好セーブに苦しむ APES-A であったが、APES-A15 番中西と 26 番金丸が得点うい重ねる。開始 12 分で同点となり、その後はお互いに激しい攻防を繰り広げる。前半は、APES-A が 9-8 という 1 点リードの形で終えた。

後半は、APES-A のスローオフで開始。開始直後から、お互いにポストシュートやミドルシュートによって点数を重ね合う。大きく試合が動いたのは開始 7 分。APES-A10 番中屋と 14 番豊田のポスト種 0 と、12 番池田の連続好セーブにより、点差を 3 点差に広げる。Acro も 14 番大濱、3 番松本らが反撃するが、流れに乗った APES-A が点差を最後まで守り切り、22-18 で勝利した。(選評担当者:多田晨之助)

第 6 試合 12:30～ 競技の部 I

コート Veleno【16】 — 大阪体育大学 APES-E【17】

戦評 Veleno のスローオフで前半スタート、APES-E は GK 吉本が入って 6 人で攻める。Veleno は右コーナー、センター、ディフェンスが空いたセンターで得点を重ねていく。APES-E は GK 吉本の力強いシュートで得点を重ねシーソーゲームとなる。Veleno は 1 番吉岡、10 番中永が TOP で動きながらパス回しをし、チャンスを狙い、1 番吉岡が 5 点目、8 番日浦、10 番中永がセンターを、8 番日浦が 6 点目、APES-E は 10:47 まで得点動かず、19 番斎藤が 5 点目、GK 吉本がパス回しと左右サイドに動いてディフェンスの隙を作り、自らシュートを決め同点で前半を終える。

後半、APES-E のスローオフでスタートしたが、1:20 まで得点は動かず、Veleno2 番関野が 9 点目の先制シュート。APES-E28 番安楽、GK 吉本、29 番原田のパスワークから 4 番木本がノーマークとなり、シュート同点、その後もシーソーゲームが続いた。APES-E、GK 吉本の左右に動いてのパスワークで相手の隙を作ったのシュート、APES-E 4 番木本、9 番池尻、12 番福塚のパスから 12 番福永のシュートが GK 児玉にセーブされ、そのこぼれた玉を GK 吉本が拾い、9 番池尻にロングパスからのシュート、これが決勝点となった。(選評担当者:小仲)

コート GOAT【20】 — ドリーマーズ【17】

戦評 ドリーマーズのスローオフで試合開始。GOAT3 番斎藤選手が先制点を決め、その後も順調に得点を重ねていく。ドリーマーズは、4-2 の 2 点ビハインドでタイムアウトを申請。その後は、7 番樋口選手を筆頭に得点を重ねる。ディフェンスでは、9 番中田選手の位置取り・卓越した車椅子操作で、GOAT を翻弄していた。対する GOAT は 18 番福田選手を中心として声掛けで守り抜き、10-8、GOAT のリードで前半終了。

後半追いかける形となったドリーマーズは、4番真下選手を中心に得点を重ねていく。GOATも18番福田選手の巧みなポストプレーや3番斎藤選手の連続得点で得点を重ねていた。後半11分20秒、激しい接触プレーでGOAT27番川嶋選手が退場となってしまいが、コート上のメンバーのチームワークで得点を守り、20-17、GOATの勝利で試合終了。(選評担当者:古川雄大)

第6試合 13:15～

競技の部II 決勝戦

Aコート Knocku SC【2】 — LBH【0】(5-1/6-5)

[戦評] 前半はLBHのスローオフで開始。開始直後からお互いのベンチから応援やチームを鼓舞する声が響き渡る。先制点を決めたのはKnocku SC10番諸岡。強烈なミドルシュートがゴールネットを揺らす。それに続き、2番森谷と1番阿部が得点し、徐々に点差を広げていく。LBHも細かくパスをつないでシュートまでいくが、なかなか得点できない。その後も点差が縮まることなく、前半は5-1でKnocku SCが取った。

後半はKnocku SCのスローオフで開始。LBH32番橋口のパスカットから20番木村の超ロングシュートがGKが戻れないKnocku SCのゴールに突き刺さる。それに続き、LBH83番安田が得点を重ねる。しかし、Knocku SCも全員ですぐ取り返し、激しい攻防が続いた。最終的に後半は、6-5でKnocku SCが勝ち、この白熱した試合を制した。(選評担当者:多田農之助)

フレンドリー決勝戦

Bコート 大阪ジュニアヤング【9】 — すぱろ～ず【7】

[戦評] 前半、大阪ジュニアヤングのスローオフで試合開始。開始から1分が経って、大阪ジュニアヤング1番角がシュートを決め、先制した。その直後に、2番鎌田も得点を決め、点差をつける。すぱろ～ずは、14番岩田がシュートを打つが、大阪ジュニアヤングの13番廣畑が好セーブを見せる。その後は、すぱろ～ず得点を決め、1点差まで追い詰めるが、終盤、大阪ジュニアヤングの7番藤原がシュートを決め、2点差で前半終了。

後半、すぱろ～ずのスローオフで試合開始。すぱろ～ずの5番金田が2連続でシュートを決め、同点に追いついた。しかし、すぐさま大阪ジュニア

ヤング 7 番藤原がシュートを決め、リードする。お互いに得点を決め合い、攻防戦が繰り広げられる。最後は、大阪ジュニアヤングの勢いで、得点を決め、9-7 で勝利した。(選評担当者:内田峻介)

第 7 試合 14:00～

競技の部 I 決勝戦

Aコート Knocku SC【20】 — すわろ～ず【11】

【戦評】 すわろ～ずのスローオフで前半開始。Knocku SC は、DF ラインを高くし、すわろ～ずプレスをかける。DF からの連攻で、Knocku SC10 番諸岡が先制点を決める。対する、すわろ～ずは、広いスペースを活用し、3 番宮下がのショートチャンスを作るが、knocku SC7 番松本のナイスセーブで得点することができない。Knocku SC は、DF からの速攻で加点し、前半 9:38 で 6-3 と 3 リード。そこで、すわろ～ずがタイムアウトを要求。再開後は、すわろ～ず 2 番刈谷のミドルシュートズが決まり、流れをつかみたいが、Knocku SC の DF をなかなか崩せない。しかし、すわろ～ず 8 番山本のナイスセーブが続き、前半 9-6 Knocku SC のリードで折り返す。

後半も Knocku SC10 番の諸岡の得点から動き出す。その後も Knocku SC10 番諸岡が得点を決める。すわろ～ずは、8 番宮下がノーマークシュートをしっかりと決め、追い継るが、Knocku SC10 番諸岡が、13 点を決め、20-11 で勝利を収めた。(選評担当者:川崎始)